

大麦栽培管理情報(第3号)

令和3年3月8日
アルプス農協管内農業技術者協議会

令和3年産大麦の生育(3/1 現在)は、草丈は長く、茎数は多く、葉色は平年並み、葉令の展開は、平年よりも遅れています。また、現在の大麦圃場では、溝がふさがり停滞水があちこちで見受けられます。

今後、登熟を高めて収量確保するためには、湿害を回避することが大変重要なので、速やかに排水溝の手直しを行って下さい。

1. 額縁排水溝や水尻の手直し

以下の点検ポイントや手直しの例を参考にして、溝等の手直しを行いましょう。

<点検のポイント>

- 水口がしっかり止まっているか?
- 額縁排水溝に土がたまっていないか?
- 額縁を水尻にしっかりつないでいるか?
- 水尻を額縁排水溝より低く掘り下げているか?

<手直しの例>



額縁排水溝に土がたまっていて、排水されていない
⇒土を取り除き、排水する。

水尻が高く、水が流れない
⇒板を外し、土を掘り下げる

2. 止葉展開期追肥

分施肥の方は、生育状況を確認して、止葉展開期追肥を施用してください。

(1) LP大麦48号(基肥一発肥料)の場合

→**追肥の必要はありません。**

無理な追肥は硝子粒が発生し、品質や価格が低下する恐れがあります。

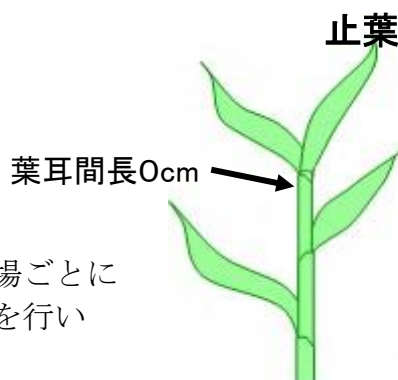
(2) 分施肥の場合

播種時期や地域により大麦の生育に差があるため圃場ごとに止葉の展開状況を確認し、生育量や葉色に応じて追肥を行いましょう。

【追肥量の目安】

葉色(葉色板)	追肥時の㎡当たり茎数	10a当たり施用量
5 未満	500本未満	硫安 10 kg
	500本以上	硫安 7 kg
5 以上	500本未満	硫安 5 kg
	500本以上	追肥しない

止葉展開期(平年4/11)
葉耳間長±0cmの茎が圃場の半分(40~50%)に達した時期



止葉展開期の大麦の姿

※施用時期が遅れたり、施用量が多いと倒伏や硝子粒の発生増加による品質低下につながりますので、注意してください。

